

《 村 岡 区 》

開催日：令和7年10月9日（木） 場所：村岡老人福祉センター

一般参加者数：74名

■地域課題への対応について■

【質問者】

香美町は合併20周年という節目の年を迎えた。浜上町長におかれては、12年半の長きにわたり町政の運営にご尽力いただいていること、心から敬意を表す。町長という立場は、まさにワークライフバランスとのご苦勞の連続かと思う。特にコロナ禍での対応や台風災害の会議は、昼夜を問わず、町民の命と暮らしを守ってくださったことに、感謝の念にたえない。合併当初は大変厳しい財政状況にあったが、自主財源で事業を進めることも可能なものに財政基盤を立て直してこられた。その的確な判断力と経営感覚には、改めて敬意を表したいと思う。しかしながら、区民として少し残念に感じていることがある。この春の町長選挙では、町長ご自身も香住の皆さんのおかげで当選できたとおっしゃっておられた。一方で、村岡や小代での得票率が低かった点を考えると、求める政策が十分に機能していないのではないかという思いを抱いている。ご承知の通り、それぞれの地域に特色と課題がある。旧町時代はその土地に合った自治体運営がなされていたと思うが、合併以降はややバランスが偏っているように感じることもある。一体で進めるとしても、それぞれの旧町ごとの実情に応じた課題解決やきめ細やかな手当も必要ではないかと考える。そこで町長として、地域ごとの課題への対応、今後の方向性についてどのようにお考えかをお聞かせいただきたい。

【町長】

選挙結果のことについて私は自分の町政運営の中でそのことをどうこうということは今までもこれからもするつもりはありません。私の町政運営について、地域バランスが取れていないようなご意見だと思いますが、決してそういうことではありません。それぞれの課題を解消していくために、それぞれその時々合った政策展開をするわけですから、今後もの確に様々な場面で、地域の皆さんに納得していただけるような町政運営や、予算配分に心がけたいと考えています。

【質問者】

合併記念事業を始め様々な事業が香住区で開催されることが多く、村岡での開催が少ないことが、先ほど申し上げた地域間の温度差を感じさせる一因になっているのかもしれない。村岡地域局前でeスポーツ大会が開催されると伺っているが、こうした取り組みは、地域の若い世代にも喜ばれると思うので、今後も村岡区、小代区での行事開催を検討いただければと思う。一方、人口バランスの関係から香住区に事業が集中することも理解している。

ただ、子どもたちが行事に参加する際には、他地区への移動が必要となり、保護者の送迎に頼らざるを得ない現状がある。高齢者の通院などについても同様で、地域内の移動手段の確保が大きな課題だと感じている。今回、射添地区で実施されるデマンド運行の実証実験については、事業者側の都合が強いように感じ、利用者の利便向上に繋がりにくいのではないかと感じている。香美町においても、交通体系の整備が望まれるところだ。地元の大手の業者から町長に対して御提案があったかと思う。地域公共交通会議などの意見を踏まえ、ぜひ再構築には取り組んでいただきたい。（答弁は結構との発言）

■ふるさと教育及び村岡区小学校再編の進捗状況について■

【質問者】

大学生が村岡商店街の古民家を改修し、村岡高校の生徒の放課後の学習の場作りや地域の憩いの場作りを行っており、来年の春オープンとのことで、感心している。これも村岡のふるさと教育の成果だと思う。村岡高校も少子化で人数が少なくなっているが、やる気のある生徒がたくさんいるので、このままふるさと教育を発展させていきたい。私どもも協力は一生懸命させていただく。また、村岡区内小学校の再編計画について、状況を教えてください。

【町長】

地元出身の大学生だと思いますが、様々な形で空き家の活用とか、地域展開で頑張っていることには、本当に頭が下がる思いです。そのような活動を周りにも進めていただいて、地域課題となっています空き家対策やまちの活性化に繋げていただくよう、私からもお願いをしたいと思います。学校の再編計画については、村岡区でも検討委員会が立ち上がって、何度か会議を進めていただいていますので、今の時点で見えてきている姿があれば、教育長から説明をさせていただきます。

【教育長】

古民家の改修の件については、時々前を通って見せていただいています。ありがとうございます。ふるさと教育交流会の中で発表して、それが実際の動きになったことは、これはすごく優秀な生徒であって、それに引かれて実際に動き始めた周りの大人の方のすごさも正直言って感じています。そういう意味で、温かい大人の方が周りにたくさんいらっしゃることに非常に感謝しています。小学校再編の進捗状況ですが、令和4年度にスタートを切って香住の1次が終わり、村岡の1次に入っています。この間に2回会議を行っており、合議制により3つの小学校のどこを使うのか、それぞれで検討してきてくださいというところが今の進捗状況になります。場所が決まると、3回目には、校章とか校歌をどうするのかなどを協議していただくというのが今の流れになります。校舎や校章をどうするかが一番の再編の大きな骨組みになってくると思います。この骨組みが決まりましたら、同時並行で、課題検討委員会、要するに今度は学校の教師が中に入りながらもっと細かな部分を、通学路も含めて検討していくという流れがおおまかな動きになります。

■門真市との交流について■

【質問者】

町おこしと関連するが、門真市と姉妹都市協定を結んで、平成の大合併で20年になるが、姉妹都市提携がどう結ばれたか、過疎化対策や町づくりにどういう対応されて、どういう実績があったのか、お聞かせいただければありがたい。元々村岡町の時に、姉妹提携は過疎化の対応として議会の承認をもって結んだという経緯があって、その後合併してから20年経過する中で、町おこし等の対応状況を教えていただきたい。

【町長】

門真市との交流事業については、香住町の出身なので詳しくは存じ上げていませんが、町が一つになっても、先だって行いました交流事業だとか、今度の合併20周年記念式典にも門真市長も来ていただけるので、そういう面での門真市との民間も含めた交流事業は進めています。これは吹田市も同じようなことで産業界における産直市ですとか、そういうことに香美町の事業者が参加するなど民間レベルの交流もありますし、門真市との交流については旧村岡町で始められて、先だって交流事業の会場になりました当時のロッジ門真が建設されて、そこに植樹祭の時に天皇陛下が来られたというようなことも聞いたことがあります。記念すべきいろいろな事業が行われてきた門真市との間柄でございますので、今後も特に村岡地域の区長の方々には、グラウンドゴルフ大会などの交流事業については、しっかりと取り組みます。またそれをきっかけに、いろいろなことで香美町に協力をいただけるような体制になればありがたいという思いもしています。門真市の祭りにも香美町から参加していただいたり、スライドを出していただいたりといったことも行っていますが、もう少し大きいスケールでの取組ができればとは思っています。今度そういうご意見があったことも記念式典に来られて話す機会があれば、私の方から市長に申し上げたいと思います。

■学校再編等について■

【質問者】

現在、村岡区では小学校の再編が行われていますが、再編後に学校がなくなった地域の賑わいをどのように維持していくのか。また、残された校舎の利活用についての考えをお聞かせいただきたい。今後、ますます人口減少が進むことを見据えると、学校再編は村岡区だけの問題にとどまらず、香美町全体として検討していかなければならない課題だと考える。現在、第3期香美町教育振興基本計画の策定が進められていると思うが、これからの更なる学校再編の方向性や校舎の利活用方針、地域や事業者から活用方法の提案があった場合の対応について伺う。

【町長】

空き校舎の活用ですが、10校あった小学校が3つになるわけですから、多くの空き校舎がでてまいります。企業誘致だとか、地域での活用などはなかなか難しい部分もあるかと思えます。やはり取捨選択をして、可能性のある空き校舎は、何らかの形で改修したり、

いろいろなニーズに対応したりする。立地条件とか、耐震化、老朽化の度合いを見ながら、起債が使える間にきちっと解体撤去をする場面も出てこようかと思いますが、そこら辺はすぐに対応できるものではありませんし、すぐに答えが出る問題ではありませんので、今後とも検討を進めていきます。

【教育長】

日進月歩でいろいろなことを勉強しながら進めていかなければいけないと思っていますが、教育委員会としては、教育に関する学校として、閉校式でいよいよその建物が財産として香美町にお返しするという格好になると思います。ただ安易に、使うかもしれないので残していくと大変なことが起こるということも既に先進地や、いろいろなところからの話も聞かせていただきながら、さっき言ったように学習して行って、ひとつひとつ考えていくしかないかなと思っています。いい知恵があったらお聞かせください。

【質問者】

3期に向けての学校再編の方向性については何かありますか。

【教育長】

一貫化は、10年度までの計画を今立てて実行していますので、まずはそれをきちっと完成させることが必要です。10年先20年先を想定しながら今のことをしていませんので、それについては次の段階で考えていくしかないかなと思っています。今は、先ほど言いましたように3つの小学校を統廃合して、最終的には香美町3つの区に、1つの中学校と1つの小学校という3校3校というのが10年度に向けての動きとなります。

【質問者】

現在、香住第二中学校をはじめ、香住区内では今年度末をもって多くの廃校舎が利活用の見通しのないまま寂しく佇んでいる状況である。先手を打って方向性を検討しなければ、同じような状況が村岡区の廃校舎でも生じてしまうのではないかと懸念している。学校として使用する校舎や残す校舎の選定を誤ると、香住の例と同様に活用が進まないまま、将来の問題を先送りすることになりかねない。利活用の観点からは、例えば老朽化しているものの耐震補強が行われていない村岡地区公民館の移転先として、校舎を活用することも検討できるのではないか。このように、将来を見据えた検討を今の段階から行うことが重要だと考えている。また、9月定例会一般質問で見塚議員への町長答弁にもあったが、資材高騰や物価、人件費の上昇といった現状を踏まえ、私も早急に解体可能な施設は解体撤去し、利活用についての協議を速やかに進めるとともに、村岡区内の3小学校は耐震化が済んでいるとは言いながらも、最も新しい射添小学校でも昭和51年建築と老朽化が進んでいると考える。今後を見据えた更なる再編や校舎新築、射添小学校で再編等のアンケートをとったときにも、校舎新築という声がいくつか上がってきた。これについても早期に検討着手していただくことを強く望む。(答弁は結構との発言)

■観光協会の合併について■

【質問者】

観光協会の合併について、非常に細かいところまで進んでいながら、反対が発生し、昨年度に無かったということになっている。今まで相当時間をかけて準備を進めていて、残念ながら一度の反対意見で、合併しないということになった。令和7年度になっても3観光協会の連絡協議会が一度も行われていない。既に6ヶ月経過している中、こういう状態が続くと、すぐにはひっくり返していくのは難しいかもわからないが、今後ほぼ合併には至らないと思う。それぞれ海山の関係で、難しい面もあるかと思うが、町長としては、そういった中で観光協会が今現在、各3ヶ所それぞれ今まで通りやっていることについて、今後どのようにお考えをお持ちなのかお聞かせいただきたい。

【町長】

ご意見はもともとだと思います。私も残念ですが、これは産業団体の関係する皆さんの合意が得られない現状がある以上、なかなか最後の詰めといいますか、会長が変わったりとか、役員が変わったりすることによって、意見が増えてきたことで、当初目指しておりましたのは令和7年の春ぐらいに合併できればというようなことが、未だに宙に浮いたままですから、私としては、合併するのかわからないのか、結論を早く導き出していきたいと思います。連絡協議会が今年度になっても開かれてないこと、これは役場のミスもありますので、しっかりと内部でも検討しながら、それぞれ他の2観光協会の皆さんにもお伝えをさせていただかなければなりません、今のことを成就しようと思えば、また振り出しに戻った議論を始めないといけないことになるので、担当課を通じて、本当のご意見を聞かせていただきませんと、何度もこのようなことを繰り返しても、町のためになりませんから、結論を導き出させていただくようなお願いを改めてしたいと思います。

■学校給食について■

【質問者】

学校給食ですが、子どもの健康のために、豊岡市でも有機農業のものに変更して、コウノトリ米など、有機米を使っている。養父市もその方向でいっている。香美町は有機野菜を使用しているか。

【町長】

学校給食の食材は、お米を含めて地元産を使いたいということで進めています。ただ100%地元産で賄えるものではありませんので、どの町も地元産を活用するとは言いながら、地元産が使えない、また元々地元でない食材もございます。香美町の給食は日本一のふるさと給食を目指していますから、決して豊岡市や養父市に負けているとは思っていませんが、特に野菜はコーディネーターを配置して、地元産をできるだけ給食に活用させていただくという動きもとっていましたが、今までと一緒で、香美町は日本一のふるさと給食を目指す方針に変わりはありません。

【教育長】

いろいろな方が来て給食を食べられますが、一番美味しいと言っているのを、自慢です。ただ、有機野菜を今後使っていかどうかに関しては私も勉強不足ですが、知っている限りでは献立には必ず香住米とか村岡米とか書いてあって、地元産を使おうということで1人職員がついて、町中走り回って野菜を集めています。有機野菜についての詳細はお答えできないので、必要であればまたご連絡させていただきます。

■町職員の退職について■

【質問者】

若手の職員の休職・退職といったことを何件か聞く。退職となると、そのご家庭にとって悲劇ですし、地域にとっても将来のリーダーがいなくなる。消防や防災力も落ちると思っている。養父市では、外部相談員がおられ、それがたまたま香美町の社会労務士の先生だったりするのですが、効果はあると聞いている。その辺り、なんとかよろしくお願ひしたいなと思う。

【町長】

若年世代の退職は、頻繁というわけではありませんが、本日、但馬県民局長以下但馬の3市2町の首長で会議をしていましたが、今ご質問いただいた職員の退職の議題が出ていました。社会労務士の対応について効果があるとは言いながら、成人した社会人の大人が退職される訳ですから、私は引き止めたりはしません。それではだめだというご意見もあろうかと思いますが、これは一人前の成人した方が自らの将来に向けての自分のつく職場、あるいは仕事を選択されるわけですから。ただそういうことになりにくい環境作りについては、日頃気をつけています。特にハラスメントについては、女性職員に対して変な言葉遣いがあったらというようなこともあって、日頃は配慮しています。退職する職員が出てきているのも課題でありますけれども、今一番の香美町の課題は、公募しても応募が少ない状況です。今年は例年より少し多いですが、職員の確保がままならないということなので、町民の皆さんに迷惑をおかけするようなことがないように、特に正規職員の確保にしっかりと努めてまいります。必要な部署に新規採用職員を充てるべく、若手の職員で採用プロジェクトチームを編成して、いろいろと考えながら1年間経ちましたが、今年はその甲斐があったのかどうか分かりませんが、先だって一次試験は終わりましたが、例年より少し応募も多かったということで、職員の確保に努めていきませんと厳しい時代が来るなと思っています。